

2024年度 株主との対話実施状況等

2024年度 株主との対話実施状況等(1/3)

【対話・フィードバック概要】

項目	状況
主な対応者	経営層： 社長、副社長（CFO、経営戦略本部担当役員）、社外取締役等 事務局： 経営戦略本部CSR推進グループ（機関投資家対応）
対話株主 （概要）	国内外機関投資家等に対して以下を実施 個別面談 ：機関投資家(国内：123件、海外：68件)、アナリスト等56件 （ファンドマネージャー、ESG担当、議決権行使担当者など） 決算・経営計画説明会 ：3回（国内・機関投資家） 見学会・事業説明会等 ：3回（国内・機関投資家）
フィードバック実施状況 （経営会議）	・取締役会：年1回株主の声をフィードバック ・その他：社外取締役との対話内容等、実施毎に取締役会でフィードバック

2024年度 株主との対話実施状況等(2/3)

【対話の主なテーマ、株主の関心事項】

項目		関心事項
経営戦略 ・資本政策		○PBR向上に向けた取り組み ・収益力強化（エネルギー事業、新成長領域）、資本効率(ROE、ROIC等)向上重視の姿勢 ・資本コストや事業リスクを踏まえた最適資本構成（自己資本比率）の考え方 ・浜岡原子力発電所の再稼動に向けた進捗状況 ・株主還元（配当、自己株取得）に対するスタンス
		○各セグメントの実力利益水準、2025年度中期経営計画の目標達成 ミライズ：お客さま負担軽減策などの料金施策や競争影響の動向、内外無差別下の電源調達PF構築 PG：需給調整費用の収支影響、物価高・金利上昇影響に対する制度設計 JERA：実力利益と今後の資本形態、配当への対応等 ○戦略的投資の進捗・収支影響
ESG	E	○脱炭素目標達成に向けた具体的情報の開示（工程・KPI・リスク管理・財務的影響等） ○取締役のスキル・マトリックス充実化（環境スキルの考え方、各スキル保有理由の開示等）
	S	○人財戦略の方向性・取り組みの進捗 －多様な人材が活躍できる環境づくりに向けた取り組み（女性管理職比率向上等）
	G	○監査等委員会設置会社移行に伴うガバナンスの改善 ○取締役会の実効性評価における取り組み・開示の充実

2024年度 株主との対話実施状況等(3/3)

【対話を通じた改善事項】

項目	改善事項
PBR向上	○2025年4月公表「中期経営計画達成に向けた取り組み」において、資本市場の皆さまとの対話内容をもとに、PBR向上に向けた取り組みについて、定量的かつ具体的に記載内容充実 ・自己資本比率の現時点の考え方と最適資本構成の追求（自己株式取得の検討等） ・株主還元充実【2024年度増配実施（55円⇒60円）、2025年度増配予定（60円⇒70円）】
環境・気候変動に係る開示	○GXリーグに登録した2025年度目標に対する2023年度実績開示（国内直接排出量等） ○TNFD開示について、2024年6月にTNFDフォーラムに加盟し、2024年より開示
スキル・マトリックス	○「環境」スキルを独立表示、環境スキル認定の基準開示 ○各スキル項目に関する知見や経歴の記載充実 （ 第101期定時株主総会招集通知P17,18 ）
ガバナンス	○監査等委員会設置会社移行によるガバナンス強化 ・業務執行に関する意思決定の機動性・迅速性の向上や、取締役会における経営方針や戦略策定等の重点審議、業務執行に対する監督機能の強化 ○取締役会の実効性に対する第三者機関からの評価導入
社外取締役との対話	○資本市場からの社外取締役との対話要請に基づき、個別面談を実施 （参考）2025年度においても、議決権行使に係る対話に社外取締役が対応